企業にとって死命を制する過言ではない研究開発テーマ評価を偏った方法のみで行っていませんか 不確実性・複雑性に対応できる分かり易い評価体系を構築し、革新的なテー

究開発テーマの(定量的)評価方法、プロセスの基礎知識、 評価法と全体評価体系への組み込み

新的なテーマの「正しい」「確実な」取捨選択、価値の判断、優先順位付け、見極め~

代表的研究開発テーマ評価法の特徴、メリット・デメリット■

良い研究開発テーマ評価システムの要件■

■全体評価体系としてのステージゲート・プロセス■

〈価値づくり特集セミナー〉

価値づくりセミナ



K190305

日時

2019年3月5日(火) 10:30~16:30

(定価:本体45,000円+税3,600円

会場

東京・品川区大井町 きゅりあん 5F 第1講習室

受講料

48,600円 ⇒S&T会員 46,170円 ※S&T会員(郵送DM案内あるいはE-mail案内を希望される方)は価格が5%OFFになります。

会員:本体42,750円+税3,420円)

資料·昼食付

講師

ベクター・コンサルティング(株) 代表取締役 浪江 一公 氏

趣旨

企業の研究開発活動は、社内で「相当の経営資源を使いながら、期待された成果を出していない」と非難され、残念ながら現実にもそうで あることは多いものです。この問題の根源的・共通的な原因に、テーマの評価・選択が適正に行われていないことがあります。多くの企業においてテーマの評価・選択は、担当する研究者の熱意の強さや評価する上司の属人的な思いや価値観で決められています。しかし、このような 偏った視点に基づく評価は大変危険です。そこには正しい評価の仕組みが必要です。

本セミナーにおいては、『木』(個別評価法)と『森』(全体評価体系)の両方学んでいただきます。最初に『木』の議論として、代表的な研究 開発テーマの評価法について、いくつかの演習を含め、学んでいただきます。この中には、代表的な財務指標での評価法であるディスカウント・キャッシュフロー法の明確な分かり易い説明を含みます。後半では『森』の議論として、これらの研究開発テーマ評価方法をるディスカウン ト・プロセスを中核のフレームワークとして、どう全体の研究開発テーマ 評価体系の中に組み込んでいくかを、それぞれの評価法の特徴とメ リット・デメリットを踏まえた上で議論をしていきます

したがって、本セミナーは個別の評価法を学ぶだけではなく、今後皆様が企業に戻り全体の研究開発テーマの評価体系を考える上で大変 役立つ知識を習得していただきます。

プログラム

- 1. 研究開発テーマ・マネジメントを取り巻く環境
 - 1.1 21世紀の日本企業が置かれている現実
- 1.2 日本企業が行く道 1.3 日本企業の研究開発マネジメントの現状
- 2. 日本企業の研究開発テーマの適性の見極めの マネジメントの3つの代表的問題
- 2.1 評価者の属人的な評価尺度(化学会社の例)
- 2.2 研究者の熱意を過度に重視する
 - (無線機器メーカー・食品メーカーの例)
- 2.3 不確実性を軽視した評価(オフィス機器メーカーの例) 3. 『木』の議論:様々な研究開発テーマ評価法:具体的内容、 特徴、良い点・悪い点
- <非財務法>
- <財務法>

- ┆4.『森』の議論(1)∶良い研究開発テーマ評価システムの要件

 - 4.1 個別の研究開発テーマ評価法の限界: 「一つの評価法では、正しい評価はできない!」 4.2 研究開発テーマ評価の基本フレームワーク:
- 不確実性・複雑性を所与とした評価システム 4.3 良い研究開発テーマ評価システムの要件
- 4.3 及い切れ開発ノーマ計画ンヘノムシン安庁 5. 『森』の議論(2):全体評価体系としてのステージゲート・プロセス 5.1 ステージゲート・プロセスとは? 5.2 ステージゲート・プロセスの11の工夫

 - 5.3 ゲートでの評価体系・評価項目例
 - 5.4 ゲートでの正しい意思決定法
- 6. 最後に

□質疑応答□

■2名同時申込みで1名分無料■

(1名あたり定価半額の24,300円)

- ※2名様ともS&T会員登録をしていただいた場合に限ります。※受講券、請求書は、代表者にご郵送いたします。 ※同一法人内(グループ会社でも可)による2名同時申込みのみ適用いたします。 ※3名様以上のお申込みの場合、左記1名あたりの金額で受講できます。 ※「価値づくりセミナー専用クーポン」以外の割引は適用できません。 ※請求書および領収書は1名様ごとに発行可能です。(通信欄に「請求書1名ごと発行」と記入ください。)

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー	申込用紙 K190305(テーマ評価))				Р
会社名					さい。※□にチェックをご はFAX番号を必ずご記入T	
団体名				(今後のご案内)		
部署				□E-mail希望・登録済み S&T会員価格を □郵送希望・登録済み 適用いたします。 □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
役 職			₹	口希望しない	(E-mail T	シス必須)
ふりがな				お支払方法 口銀行振込(振		
	+	住 所				日)
氏 名				□当日現金払い	1	
TEL		FAX		通信欄		
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。					
●受講料につ	いていない年料リニヘいではトラの注意車項をや達れ		■人情報の取り扱いについて		゚エンフ c テク	

「2名同時申込みで1名分無料」については上記の汪意事項をお読か ●お申込みについて 申込田紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。 また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。 お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。 ◆本世リンでついて

●あみない(こいく 受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、 もしくは当日現金にてお支払いください。 銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。 振込手数料はお客様がご負担ください。

こ記入いただいた個人情報は、 事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。 詳上くはホームページをご覧ください。 Dキャンセル規定 開催日から逆算(営業日:土日・祝祭日等を除く)いたしまして、 ・開催7日前以前でのキャンセル: キャンセル料はいただきません。 開催日から近昇(宮来日:エロ・代宗日寺を除くいけことは、 ・開催7日前以前でのキャンセル: キャンセル料はいただ。 ・開催3~6日前でのキャンセル: 受講料の70% ・開催当日~2日前でのキャンセル・欠席: 受講料の100% ※ご注意※参加者が最少催行人数に達じない場合など、 事情により中止になることがございます。 受講料の100%

くて サイエノ人 & ナンノ ロン 研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍

サイエンス&テクノロジー株式会社 TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187 $\pm 105-0013$ 東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F

http://www.science-t.com